

第57期 株主通信

2025年4月1日～2026年3月31日

p.01 トップメッセージ

高見澤 和夫

p.02 主要製品の概況

p.04 トピックス

TOPICS
1

警察庁様に「災害通報表示装置」を納入、
インターネット回線不要で災害情報を受信

TOPICS
2

Osaka Metro130駅に設置の「ワーク
スルー型 顔認証改札機」が2025年日経
優秀製品・サービス賞 最優秀賞を受賞

p.05

決算データ

p.06

会社の概要

- 株式の状況
- 役員の状況



成長と 品質への投資で 一層の飛躍を

代表取締役社長

高見澤和夫

平素は格別のご高配を賜わり厚く御礼申し上げます。

さて、当社グループの第57期（2025年4月1日から2026年3月31日まで）営業の概況及び決算の諸事項につき、次のとおりご報告申し上げます。

当連結会計年度における我が国経済は、雇用情勢は改善し、個人消費も持ち直しの動きがみられるものの、物価の上昇が続いていることに加え、米国の通商政策や不安定な中東情勢など依然として景気を下押しするリスクが存在しており、引き続き不透明な状況が続きました。

この様な経済環境のもと当社グループは、「交通システム機器」、「メカトロ機器」、「特機システム機器」の専門メーカーとして、鋭意営業活動の展開に注力してまいりました。

その結果、特にホームドアシステムや防災計測システムの売上が順調に推移しましたが、交通システム機器部門の自動券売機をはじめとする出改札機器において、複数の新規・更新案件が含まれていたこと、またメカトロ機器部門において、

新紙幣発行に伴い紙幣処理装置等が堅調に推移したことなど、例年よりも売上の増加要因が存在したことにより、売上高は128億9千7百万円（前連結会計年度比16.2%減）となりました。

損益面につきましては、生産体制の見直し等による原価率の低減や経費の圧縮に努めてまいりましたが、売上高の減少に加え、人材の維持・確保を目的としたベースアップの実施、また新規事業の展開を見据えた投資を行ったことなどにより、営業利益は6億1千8百万円（前連結会計年度比55.0%減）、経常利益は5億9千9百万円（同54.1%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は4億9千6百万円（同50.4%減）となりました。

当社は、サステナビリティ推進室の活動をはじめ、ESGの観点から様々な取り組みを行い、今後も経営理念である「世の中に必要不可欠な会社」を目指して邁進してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援とご鞭撻を賜わりますようお願い申し上げます。

2026年6月

主要製品の概況



交通システム機器

売上高

65億1千8百万円

前期比 16.3%

交通システム機器部門では、乗車券自動券売機・ICカードチャージ機等の「出改札関連機器」、扉が横方向にスライドして開閉するタイプの腰高式ホームドアや、3本のバーが上下方向に動いて開閉するタイプの昇降バー式ホーム柵等の「ホームドアシステム」を開発・製造・販売しております。

当期におきましては、ホームドアシステムの売上が増加しましたが、前事業年度の売上高に自動券売機等をはじめとする出改札機器の複数の新規・更新案件が含まれていたことにより売上高は65億1千8百万円となり、前期と比べ16.3%減少しました。



キャッシュレス対応 自動券売機
(北越急行(株)様 十日町駅)



腰高式ホームドア
(小田急電鉄(株)様 狛江駅)



メカトロ機器

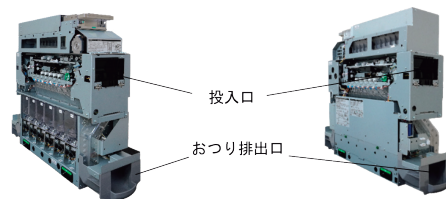
売上高

16億8千5百万円

前期比 35.2%

メカトロ機器部門では、当社独自のコア技術であるT (Ticket:チケット)、B (Bill: 紙幣)、C (Coin: 硬貨)、C (Card: カード) 処理技術を応用したユニット製品を開発・製造し、金融機関向けATMや駐車場の精算機等を製造する装置メーカーに販売しております。

当期におきましては、前事業年度において、新紙幣発行に伴い国内向け紙幣処理装置等の売上が堅調に推移するなどの特殊要因があったことにより、売上高は16億8千5百万円となり、前期と比べて35.2%の減少となりました。



(前面)

(後面)

セルフ両面精算機向け
両面硬貨処理装置



特機システム機器

売上高

25億5千5百万円

前期比6.1% 

特機システム機器部門では、セキュリティシステム・防災計測システム・パーキングシステムの開発・製造・販売をしております。

セキュリティシステムでは、オフィスや工場などのセキュリティ管理を目的に設置されるセキュリティゲートを主力製品としています。また、レジャー施設などで、入場券発売機などの機器とセキュリティゲートを組み合わせて来場者管理を行う「入退場管理システム」も扱っております。

防災計測システムでは、特定の場所に備え付けて震度を計測する「設置型地震計」、レスキュー隊

が地震被災地に持ち込み、余震による二次被害を防止する「可搬型早期警報地震計」、列車やエレベーターなどの運行システムと連携し、大きな揺れが到達する前に機器の動きを停止させ、被害の軽減に役立つ「早期地震警報システム」を扱っております。

パーキングシステムでは、駐輪場管理システムに関する製品として、電磁式ラックや自動精算機等を扱っております。また、グループ会社である株式会社高見沢サービスにおきましては、駐輪場管理業務を行っております。

当期におきましては、防災計測システムの売上が増加しましたが、セキュリティシステム及びパーキングシステムの売上が伸び悩んだことにより、売上高25億5千5百万円で前期比6.1%の減少となりました。



セキュリティゲートシステム
(オフィスエントランス)



ゲート式駐輪場管理システム
(自転車駐車場整備センター様 南草津駅西口自転車駐車場)



01

警察庁様に「災危通報表示装置」を納入、 インターネット回線不要で災害情報を受信

当社は、警察庁様より、準天頂衛星システム「みちびき」から受信した災危通報（災害情報などの危機管理情報）を表示する災危通報表示装置を採用いただきました。大規模災害発生時の救出・救助・捜索活動における安全管理や二次災害防止のため47都道府県に配備されています。



災危通報表示装置

02

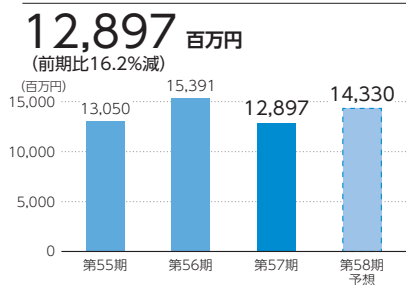
Osaka Metro130駅に設置の「ウォークスルー型 顔認証改札機」が 2025年日経優秀製品・サービス賞 最優秀賞を受賞

当社がOsaka Metro、パナソニック コネクトと連携して導入し、現在Osaka Metroの130駅で運用している「ウォークスルー型 顔認証改札機」が、2025年日経優秀製品・サービス賞 最優秀賞を受賞しました。利用者の顔の経年変化に強くマスク着用でも正確に認証できる高い精度と、同技術の普及によって次世代の鉄道業界のスタンダードになりうる将来性が評価されました。

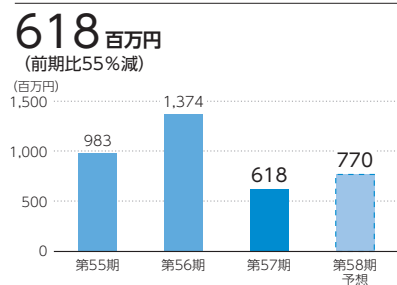


連結財務ハイライト

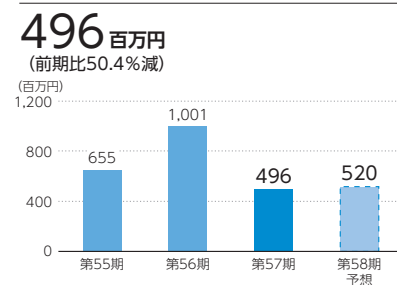
売上高



営業利益



親会社株主に帰属する 当期純利益



第58期予想の ポイント

当社は富士通フロンテック(株)様より、エアラインプリンタ(空港の搭乗券の発券機や荷物預け入れ機などに搭載するプリンタ)を製造販売する事業を承継いたします。航空業界という新たな市場で事業を展開し、グループ会社の成長に繋げてまいります。

連結貸借対照表

(単位: 百万円)

科目	前期 第56期	当期 第57期
流動資産	11,853	10,704
固定資産	5,069	5,692
資産合計	16,922	16,397
流動負債	6,567	5,545
固定負債	4,317	4,233
負債合計	10,884	9,778
株主資本	5,499	5,908
その他の包括利益累計額	539	711
純資産合計	6,038	6,619
負債純資産合計	16,922	16,397

連結損益計算書

(単位: 百万円)

科目	前期 第56期	当期 第57期
売上高	15,391	12,897
売上総利益	4,344	3,788
営業利益	1,374	618
経常利益	1,307	599
親会社株主に帰属する当期純利益	1,001	496

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

科目	前期 第56期	当期 第57期
営業活動によるキャッシュ・フロー	935	583
投資活動によるキャッシュ・フロー	△475	△389
財務活動によるキャッシュ・フロー	△568	△287
現金及び現金同等物の増減額	△108	△92
現金及び現金同等物の期首残高	2,938	2,829
現金及び現金同等物の期末残高	2,829	2,737

※詳細につきましては、当社ホームページをご覧ください。<https://www.tacy.co.jp/>

会社の概要

会社の概要 (2026年3月31日現在)

商号	株式会社高見沢サイバネティックス
英文商号	TAKAMISAWA CYBERNETICS COMPANY,LTD.
設立	1969年10月1日
資本金	700,700,000円
従業員	412名 (単体)、566名 (連結)

主な事業内容

区分	主要製品
電子制御機器	
交通システム機器	自動券売機、定期券自動発売機、自動精算機、ICカード入金機、ICカード発売機 (駅券用)、券印刷発行機、ホストシステム、ホームドアシステム 他
メカトロ機器	硬貨処理関連機器、紙幣処理関連機器、カード処理関連機器、発券処理関連機器、OEM製品開発 他
特機システム機器	パーキングシステム、セキュリティシステム、入退場管理システム、防災計測システム、コインゲート、カード発売機、オープン温度試験槽、各種計測器 他

役員の状況 (2026年6月24日現在)

代表取締役社長	高見沢 和夫
取締役社長	下里 雄二
取締役社長	藤曲 宏
取締役社長	高橋 利浩
取締役社長	高土 元
取締役社長	高橋 康
取締役社長	高野 真
取締役社長	北村 隆
取締役社長	田中 倫
取締役社長	篠崎 直
取締役社長	泉山 嘉
取締役社長	西村 茂
取締役社長	白井 健
取締役社長	石田 康
取締役社長	崎井 明
取締役社長	須賀 敏
取締役社長	酒井 浩
取締役社長	出井 吉
取締役社長	田 勝
取締役社長	工 幸

※は独立役員

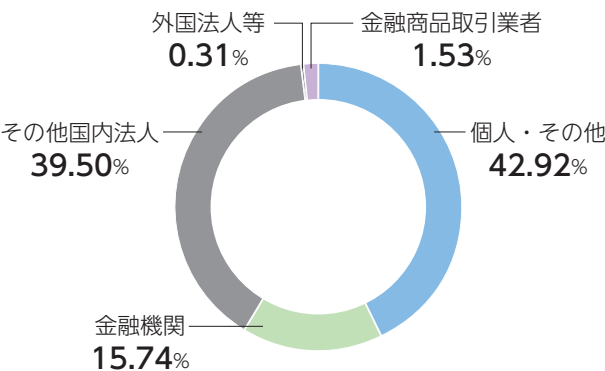
株式の状況 (2026年3月31日現在)

- 発行可能株式総数 14,800,000株
- 発行済株式の総数 4,525,000株 (自己株式126,432株を含む)
- 株主数 3,095名
- 大株主 (上位10位)

株主名	持株数	持株比率
富士電機株式会社	618千株	14.06%
富士通株式会社	314	7.15
富士通フロンテック株式会社	250	5.68
高見沢サイバネティックス従業員持株会	213	4.85
高見沢 和夫	196	4.46
西川計測株式会社	179	4.09
株式会社みずほ銀行	175	3.98
みずほ信託銀行株式会社退職給付信託富士電機口	126	2.88
再信託受託者株式会社日本カストディ銀行		
飯田通商株式会社	102	2.32
株式会社三菱UFJ銀行	100	2.27
株式会社常陽銀行	100	2.27
レシップホールディングス株式会社	100	2.27
株式会社巴コーポレーション	100	2.27

- (注) 1. 「みずほ信託銀行株式会社退職給付信託富士電機口再信託受託者株式会社日本カストディ銀行」名義の株式126千株は富士電機株式会社が保有する当社株式を退職給付信託として信託設定したものであり、議決権については、富士電機株式会社が指図権を留保しております。
2. 当社は、自己株式を126,432株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。
3. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

●所有者別株式分布状況



株主メモ

■事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
■定時株主総会	毎年6月下旬
■基準日	定時株主総会・期末配当 毎年3月31日 中間配当を行う場合 毎年9月30日
■株主名簿管理人 及び特別口座の 口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
■郵便物送付先 (電話照会先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-782-031(フリーダイヤル) 受付時間 9:00~17:00(土日休日を除く)
■公告方法	電子公告 当社は公告を下記ホームページに掲載 しております。 https://www.tacy.co.jp

お知らせ

株式に関する住所変更等のお手続きについてのご照会

証券会社の口座をご利用の株主様は、取引証券会社へご照会ください。

証券会社の口座をご利用でない株主様は、三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

なお、お手続きの方法やよくあるご質問は、「よくあるご質問 (FAQ)」サイトでご確認いただけます。

よくあるご質問 (FAQ)

https://faq-agency.smtb.jp/?site_domain=personal



未払配当金のお支払いについて

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

ホームページのご案内

高見沢サイバネティックス

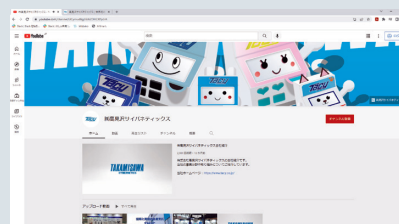
検索

高見沢グループの製品・サービス、最新ニュース、決算情報の詳細など、株主・投資家の皆様に役立つ情報をご覧いただけます。ぜひご利用ください。

トップページ <https://www.tacy.co.jp>



YouTubeチャンネル



株式会社 **高見沢サイバネティックス**

〒164-0011 東京都中野区中央2-48-5

TEL : 03-3227-3361 (代表)

UD
FONT



本冊子は環境保全のため植物性インキで印刷しています。